３　題材の目標及び題材構想

　「ハツカダイコンを極めよう」（５時間完了）

(1)題材の目標

①　ハツカダイコンの栽培に関心をもち，意欲的に作業を進めることができる。

（生活や技術への関心・意欲・態度）

②　繰り返し栽培する中で，栽培方法を工夫することができる。　　 （生活を工夫し，創造する能力）

③　手入れや観察を通して，ハツカダイコンの育成環境の管理をすることができる。 （生活の技能）

④　ハツカダイコンの栽培方法に関する知識を身に付けている。 （生活や技術についての知識・理解）

(2)評価規準

|  |  |
| --- | --- |
| 生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】 | ハツカダイコンの栽培に関心をもち，継続的に作業に取り組むことができる。また，２回目以降の栽培に，それまでの経験を生かして作業を進めようとする。 |
| 生活を工夫し，創造する能力　　・・・【工】 | 限られた条件の中で，効率よく作業を進めることができる。また，学んだことを生かし，２回目以降も摘芽や土寄せなどの栽培方法を工夫している。 |
| 生活の技能　　　　　　　　　　・・・【技】 | 定期的に適切な観察記録を取るとともに，ハツカダイコンの生育に必要な手入れを行うことができる。 |
| 生活や技術についての知識・理解・・・【知】 | 生育過程で行った作業内容や環境条件等，ハツカダイコンの栽培方法に関する知識を身に付けている。 |

(3)題材構想

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 各過程のねらい | 時数 | 学習活動 | 教師の支援・留意点 ☆評価規準 |
| １　校内の環境を知り，限られた条件の中で栽培計画を立てる。 | １ | １　ハツカダイコンの栽培計画を立てる。・ハツカダイコンの特徴を知る。・栽培に適した土の性質を知る。・どのような手入れ方法があるか調べる。・水やり　・除草　・土寄せ・摘芽　　・追肥 | ・事前に限られた場所，低予算で，比較的簡単に栽培できる作物を検討しておく。・あらかじめ，校内で栽培可能な場所，日当たりや水はけ等を確認しておく。・栽培期間が短いことを生かし，一年間で複数回栽培させる。・家庭で実践可能な題材としてハツカダイコンを選択し，簡単に準備できる用具としてポットを使うことを説明する。☆ハツカダイコンの栽培方法に関心をもち，栽培計画を立てることができたか。（ワークシート）【関】【工】 |
| ２　種まきを行い，発芽の様子を知る。 | １ | ２　発芽に必要なものを考え，種まきをする。・水　・適度な温度・さまざまな種まきの方法を知る。・種まきをする上での注意事項を考える。 | ・じかまき，すじまき，点まき等，まき方を考えさせ，選ばせる。・１回目は，学校で準備した土を用いる。２回目以降は，どのような土が適しているかを選ばせる。☆正しいまき方に従って，種まきを適切に行うことができたか。　　　　 （授業の様子）【技】 |
| ３　観察記録を取り，ハツカダイコンが生長する様子を知り，必要な手入れを行う。 | ２ | ３　定期的に必要な手入れを行う。・子葉が重ならないよう，間引きを行う。・随時，水やり，除草を行い，雑草を抑えて土寄せを行う。・水やりは低い位置から行う。・土寄せは葉に土が付かないようにする。・観察記録を取り，ハツカダイコンの生長の変化や様子に気付くようにする。 | ・授業日以外でも世話をしたり，記録を取ったりしやすいように育成場所を考慮する。☆水やり，除草，土寄せ等，適切な作業を行うことができたか。 （活動の様子・ポットの点検） 　　　　　 【工】【技】☆定期的に観察記録を取り，生長の変化や様子に気付き，手入れをすることができたか。（ワークシート）【関】【技】 |
| ４　収穫・観察の後，二回目の栽培計画を工夫する。 | １ | ４　収穫したハツカダイコンを観察し，栽培計画の改良を図る。・よりよいハツカダイコンを作るには，どのようにすればよいのかを考える。・種をまく時期や手入れ方法，土を変えることで違いが生じるかなどの視点を基に考える。・次の栽培計画を発表する。 | ・ポットがなければペットボトルで代用するなどして，家庭でも簡単に栽培できることを説明する。☆今までの作業を振り返り，よりよいハツカダイコンを作るために，栽培計画を改良することができたか。（ワークシート）【関】【工】【知】☆さまざまな栽培方法についての知識を身に付けている。（テスト）【知】 |

※１回目のハツカダイコン栽培は，５時間完了として構想した（第１次案）。２回目以降の栽培は，上記のそれぞれの活動を２０分程度の帯活動として行うことを想定している（第２次案）。